

沖縄語
かわら版

hasama-s8@lime.ocn.ne.jp 國吉 真正



「^{おきなわ} ^ご ^{はな} ^{かい} ^{ちち} ^{たけーんあち} ^{びんちよーい} ^{しながわ} ^{おーさき}
「^沖 ^縄 ^語 ^を ^話 ^す ^会」 ^月 ^に ^二 ^回 ^集 ^ま ^て ^ぬ ^勉 ^強 ^会、 ^品 ^川 ^ぬ ^大 ^崎 ^を ^て、

- ・初^{はじ}み^めぬ^{くち}言^は葉-----会 長 城間朝昌
- ・忘^{わし}て^な一^う成^ちら^なん^ー沖^い縄^ち口-----山 路 安 清
- ・魂^{たましえ}一^う沖^ち縄^なん^ー人^い（ 1 ）-----新 垣 清 松
- ・山^{やん}原^ば覚^ら出^うじ^びゃ^んち-----崎 浜 和 子
- ・沖^う縄^ち口^な通^ー訳^{やく}-----仲 井 真 格
- ・沖^う縄^ち口^なっ^かし^た語^かや^たび^たら-----國 吉 （ 眞 ）
- ・事^じ務^む局^{きょく}から

染料インクを使用しています。水濡れにより、変色したり印字がにじみますのでご注意ください。

かにてから、意込まちよーたる「沖縄語を話す会」

ぬ会報出じゃする事成いびたん。会員んまじゅんさ
ーに御喜 びうんぬきやびら。

くれー、御衆様ぬ大切な御 話 書ち御賜みそーちやる

御蔭やんで思とーやびーん。「沖縄語かわら版」んか

い諸沖縄口っし書ち御賜みそーち、いー会報成て

いっぺー 一杯にふーでーびる。

くぬ会ー、15年びけーん前に、「沖縄 口 一次第

に使ーん成て解らん成て来よーいびーたくと、是非

皆さーに勉強 っし広みて行かな」んでち 作 たる会

やいびーん。今まてぬ勉強 や、沖縄口 習いがちーな

ー沖縄ぬ歴史とか文化ん語たいいっし来やーびたん。

くぬ会ー、沖縄口 好ちどんやれー誰やてんめんそ

ーち、沖縄口 華ーかち御賜みしえーびり。

沖縄口ぬ 習い易さる 所 やいびーくと、くりから

ん、皆さーに勉強 会盛い立てて、沖縄口広みて行ち

やびらんち思とーやびーん。宜しく御願ーさびら。

わし な うちなぐち
忘てー成らん沖縄口

山路安清

童 ぬ時分ー、良ー沖縄口使とーいびーたしが、

何時頃から大和口ん言ーゆーする如成たがやーんで

思やびーん。

良ー考ーいねー、小学校んかい入っち先生ぬ大和

口ん解やびたくと、親 兄 弟とか同土どん時 々ー

やまとぐちか うむ
大和口使とーたんで思やびーん。

がっこー びんちよー むるやまとぐちか ほーげんちか な
学校ぬ勉強 や諸大和口使て「方言使てー成らん」

んで言らっとーたくと、「標 準 語ー先生達前んじ

使いる言葉」んで思とーいびーたん。

やまと んなひょーじゅん ぐちか うむ
大和んじえー、皆 標 準 語使とーんで思とーいび

ーたるむんぬ、学校移て鹿児島うりから熊本ぬ学校

んかい出じたれー、先生ん生徒ん諸方言使とーいび

ーたくと驚 ちゃびたん。

めーじじゅーさんにん おきなわけんちよーがく む へん
明治 13 年に沖縄県 庁 学務課ぬ出じゃちやる

「沖縄対話」んで言る書物んかい「貴方八東京ノ言

葉デ御 話 ガ出来マスカ。(ウンジョー トウキヤウ

ヌ クトバシヤーイ ウハナシ{ヌ} ウナ{イ}ミ

シェーピーミ。)」んで書かつとーいびーしが、昭和

10年代ねー「鹿児島対話」「熊本対話」ぬあてん宜

さんて思やびーん。

せんそーちゅー きゅーしゅー うち うちなー ちゅ
戦争中、九州 んかい移たる沖縄ん人ぬど

標 準 語ー上手やいびーたる。やいびーしが、皆

沖縄口、標 準 語、鹿児島方言、熊本方言ぬまん

ちゃーふんちゃーなて述懐そーいびーたん。

わ うちなぐちわし な うむ やー
我んねー沖縄口忘てー成らんで思て、家んじえー

なるびち沖縄口使て沖縄民謡歌たい、日記とか仕事

ぬメモとか、手紙ん電話ん沖縄口っしする如気掛き

とーいびーん。

うちなーじー
沖縄字(て、ふ、ん、ど・・・)にちてー終わ

いぬページ見ち御賜みしえーびり。

我んねーペルー生まりぬ泡瀬人 (沖縄市) やい
びーしが、横浜かいいちねー持ち 50 年びけーん
成いびーん。

此ぬ前、島んかい帰て同土小んかい行会たる場所に
我んにんかい向かて「やーや、な一大和人人成とーさ
やー。」

我んねー言びたん。「沖縄育ちぬ日本国民どやる、我
んねー大和人人ーあらんどーやー。」

同土ー「あんどやる。あんしえー我んにんいぬ者や
さ。」んて言ち同土ー合点そーいびーさ。

我んねー八ちぬ年にペルーから来やーびたん。
沖縄口ん大和口ん解らんくと 兄 弟おーえーや、ちゃ
ースペイン語っしさびたん。あんさくと、聞ち事んて
言ちちゅけー隣 から見じーが来やーびたん。

女 親ーペルーんかい帰やびたん。我んねー年寄ど
ぬ暮らし成てさくと、なんくる沖縄口ん覚て大和口
ー学校んじどさびーる、同土小達とー諸沖縄口びけ
ーんやいびーたん。やいびーくと、今ちきて我んねー
沖縄口ー覚とーやびーん。

「来やーびりたい。」「めんそーれー、内んかい入み
それー。」んて言ち土曜日ぬ沖縄口ぬ勉強 会ー楽し
みそーいびーんたい。

ぬゑーかぬ家んかい行じやる場所に「大和から来よー
しえー分持ちやーやくと、ふれー苦さる筈」んて言ち、
御年寄ぬ 達 や皆ー口ん物ー言みそーらんぐと揃り
て、いちよーみしえーびーたん。

我んが、あまくま沖縄口っし御 話 さびたくと、皆打
ち解きて、あまからんくまからん沖縄口っし御 話 ぬ
始まいびたん。

やいびーしが、我んねー聞ちゅしえー成いびーたしが、
御 話 すしえー難 さいびーたん。

なーちゃー、御年寄ぬ 達 や同土小ぬ如っし我ー手引
ち、ふら小登たい降りたいっし、ゑーかぬ家廻やび
たん。またバス停ぬ前や浜やいびーたくと、降りて清
ら海んかいん行ちやびたん。

今一名護ぬ七 曲 ン無ーんて、バス通りん如何ー
が成とーいびーらやー。昔 ぬ面 影 ー無ーらん成と
ーる筈やいびーんやーたい。

沖縄口ぬ御蔭に、ゑーかぬ 達 どぬ何 十年ぬ御無
礼ん縮またんてぬ御 話 やいびーしが、くりからん
沖縄口 勉強 っし、御 話 ぬ 上 手成いる如しえーや
ーんて思とーやびーん。



やまと なんべい うち うちなー くまもと ひろしま
大和から南米んかい移たしえー、沖縄、熊本、広島、

わ か やま ふくしま ちゅ ちゃー うふ
和歌山うりから福島ぬ人ぬ達が多さいびーたん。

いくさ う あと やまと けー うちなー ちゅ
戦ぬ終わて後、大和んかい帰てちょーる沖縄ん人ぬ

くど
事やいびーん。

はね だくーこー にゅーこく てつづ どち すつこー ぐど
羽田空港んじ入国手続きする時に述懐さる事ぬあ

いびーたん。うんにーねー、うちなー ちょー うちなーぐち
いびーたん。うんにーねー、沖縄ん人ー沖縄口とス

こ わか やまとぐちえ はなし
ペイン語ぬど解いびーしが大和口ー話ゆーさびら

いっぺー な
んたくと、一杯じゃーぬ成とーいびーたん。

わ りょこーふいしゃ を めーにちはね だ
我んねー旅行会社んかい居いびたくと、毎日羽田

くーこー かゆ うちなーぐち つーやく てつづ
空港んかい通て、沖縄口ぬ通訳っし手続きぬてがね

くど
ーさる事ぬあいびーん。

てんさぐぬ花

んなし るーか
皆知つちょーる琉歌やいびーん。

はな ついみざち す
てんさぐぬ花や 爪先に染みて

うや ゆ ぐど ちむ す
親ぬ寄し言や 肝に染みり

るーか や
「爪先」や琉歌どっしえー「ついみざち」んで言びー

ふーじーちか ぐどば
しが、平生使ゆる言葉どっしえー、「ちみじゃち」っ

し しちや なま か かた
し済まびーん。下ー今までぬ書ち方やいびーしが、

くら んー ゆ かた あー むん
比びて見じみそーれー。読み方ー上どいぬ物どやい
びーる。

てんしやごの花や 爪先に染めて
親の寄せ言や 肝に染めれ

うた びち るーか け ゆた
歌いねー、別ぬ琉歌んかい変てん宜さいびーん。

ばー るーか はちはちはちるく わらび ちゃー ゆ
うぬ場ねー琉歌ー8886、童ん達んかいぬ「寄

ぐど な まし
し言」成いどんしえー益やいびーん。

(y)

うちなーぐち かた 沖縄口っし語やびら

國吉(眞)

なま うちなー うちなーぐちえ わし な い
今ー沖縄んじん沖縄口ー忘てー成らんで言ち、あ

うちなーぐち びんちよーふい いっぺー
まくまんじ沖縄口ぬ勉強会ぬあいびーしが、一杯

くど うむ
ばー事やんで思とーいびーん。

とーちよー おきなわご はな かえ じゅーぐにん
東京んじえー、くぬ「沖縄語を話す会」ー、15年

めー ぐど わ
びけーん前にてきたんでぬ事やいびーしが、我んねー

ふい い はちにんあま な
会んかい入っち8年余い成とーいびーん。

やまと うち さんじゅーににん な うちなー
大和んかい来から32年成いびーしが、なー沖縄

ぐち はなし どち ね ぐどば て
口っし話する時ん無ーびらんたくと、言葉ーちな

てー わし ち
ーちなー忘て来よーいびーたん。

しえー系 ふい い かた う はなし
幸ーにくぬ会んかい入っちしーじゃ方から御話

ち かた うびん
聞ちやい、また語たいさびたくと、たったたった覚出

うちなーぐち むぬがたい いっぺー
じゃち沖縄口っし物語すが一杯ゝりきさいびー
ん。

ぐる やまと ぶんふ やまとぐち かた うちなー ぶん
くぬ頃ー、大和ぬ文化ー大和口っし語て、沖縄ぬ文

ふ うちなーぐち かた ふんとー くる わか
化ー沖縄口っし語りわど本当ぬ心ぬ解いんねーさ
びーん。

うちなーぐち やまとぐち かた か
くりからん、沖縄口と大和口っし語たい、書ちやい

ぐどば かじうほー うび うむ
っし言葉数多く覚えていけーやーんで思とーいびー

なら うたび
くど、習ーち御賜みしえーびり。

ちく 稽古さびらな

くどばちけ てーしち くど やまどくち た
言葉遣ーや大切な事やいびーん。大和口っし「食べ

る」んて言る言葉ぬあいびーしが、場所(ばす)にゆって「食

え」とか「食べなさい」とか「食わす」んて言びーん
やーさい。

うちなーぐち ばす
沖縄口やそん場所にゆって言葉ー、使ー分きらんと
ー成いびらん。

しちや はなし なか くどば か
下ぬ話ぬ()ぬ中んかい言葉「噛むん、うさぎ

ゆん、呉ゆん、食ーすん使て入て見じみそーれー。

どない
隣ぬんめー「あい、やーや、いー場来えーさ。くま

そーみん
んかい素麺ちゃんぶるーぬあさ、やー
ん()」

たー
太郎 「うー、活計(かつけい)さびら。あんし旨(まい)さいび
ーる。」

どない
隣ぬんめー「旨(まい)さみ、出し小入(こいり)てーくどやー。」

たー
太郎 「我(わ)んねー菓子小持(こもち)ち来(き)やーびたしが、

んまが
うれー、孫(まが)んかい()みそーれ
ー。くれー、たんめーんかい()
みそーれー。」

どない
隣ぬんめー「うさきーなー持(も)ち来(き)えーる、活計(かつけい)す
さやー。」

たー
太郎 「あい、だーなー、ゆらりて無(ね)ーびらん

さ、我(わ)んねー豚(あ)んかい物(もの)()わど

やいびーさ、御無礼(ごぶり)さびらをー。」

國吉(眞)

事務局から

「沖縄語を話す会」は、沖縄語に関心を持つ者が集い、沖縄語による対話などを通して素養を深め親睦を図るためにあります。

昨年は沖縄文字をワープロ化することに専念してきましたが、それが成功し、本年は念願の会報を発行することになりました。

この会では勉強会などを通して会員の方々から大変貴重なお話や資料などをいただくことが多いので、記録に残し会員の方々に還元して、沖縄のことは勉強するのに役立てたいと思います。また新しく会員になられた方々にも役立つようにしたいと思います。

原稿は沖縄語に関心を持つ方であれば、どなたでも書くことが出来ます。活字数は今のところ、400字詰原稿用紙1枚乃至2枚といたします。少しでも書くことをお勧めいたします。

原稿はこれまで勉強してきました沖縄文字を使うことにします。表記は船津好明著「美しい沖縄の方言」に従いたいと思います。

勉強のためできるだけ沖縄語で書いていただきたいのですが、共通語の原稿は事務局で沖縄語に書き替えさせていただきます。そして原稿は趣旨を変えないで手直しをする場合があります。この場合会報に載せるのに時間を要することもあります。

また大変恐縮ですが、原稿料はお支払いできませんので会報を寄贈して薄謝に代えさせていただきます。

沖縄文字による表記はパソコン通信でも実験を終え沖縄語で交信ができるようにしましたので、これから広く使われていくことを願っております。

國吉(眞)



創刊号

語句の説明（中縄語辞典、広辞苑による）

意^い込^くますん：意気込んで企てる。

御^く衆^す様^よ：皆様。

まじゆん：一緒（に）、共（に）。

うんぬきゆん：申し上げる。

御^う賜^たみしえーん：賜る。下さる。

「呉^くゆん」の敬語。「呉^くみしえーん」
より丁寧。

書^かち御^う賜^たみそーちやる御^う蔭^か：書いてくださった御蔭。

盛^むい立^たてゆん：盛り上げる。

まんちゃーふんちゃー：まぜこぜ。ごたまぜ。

述^す懐^っすん：困る。

なるびち：なるべく。

気^ち掛^がきゆん：精出す。励む。

見^んち御^う賜^たみしえーびり：見てくださいませ。

ちねー：家庭。家族。

同^ど士^し：友。友だち。仲間。

兄^ち弟^ょおーえー：兄弟げんか。

ちゃー：いつも。

ちゆけー隣^と：隣。隣近所。

なんくる：ひとりでに。自然に。

びけーん：ばかり。

今^なちきてい：今になっても。

親^おーか：親戚。親類。

分^ぶ：身分。身分にそなわる品位。

ふれー苦^くさん：つきあいにくい。

揃^すりゆん：人が集まる。揃う。

いゆん：すわる。

あまくま：あちこち。あちらこちら。

なーちゃ：翌日。

ふら：坂。

うんにーに：そのおりに。その時に。

一^い杯^っ：たいそう。非常に。たいへん。

じゃーふー：始末に終えないこと。めちゃめちゃ。

てがねー：手伝い。加勢。

いぬ物^む：同じ物。

寄^ゆし言^ぐ：教訓。忠告。

いー事^く：よいこと。

しーじゃ方^か：年上の人たち。先輩たち。

たった：次第に。

あーりきさん：面白い。楽しい。

うさぎゆん：さし上げる。

んめー：おばあさん。

いー場^ば：よいとき。よい折。

活^く計^っ：ごちそう。

たんめー：おじいさん。

うさきー：そんなにたくさん。そんなに多量。

ゆらりゆん：むだに時を過ごす。また、道草を食う。

